

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 12 [2018年 6月27日(水)]

♪な～ぐ～ご～は～いねが！♪

昨年も1度取り上げましたが、秋田県横手市出身のシンガーソングライター、高橋優さんのことについて、また書きたいと思います。

高橋さんは「明日はきっといい日になる」を始め、たくさんのヒット曲があります。コンサートは常に満員で、とても盛り上がるそうです。3年前から始めた、秋田県のすべての市町村で行うことにしている「屋外フェス」は、今年は仙北市で行われます。その高橋さんの有名な曲で、コンサートでは必ず歌われる「なぐ子はいねが」があります。

ナマハゲの台詞である曲名からして分かるように、この曲は、そのほとんどが秋田弁で歌われています。曲の始めには次のような歌詞があります。

♪ 秋田名物 八森ハタハタ 男鹿で男鹿ブリコ
きりたんぽにいぶりがっこにしょつる鍋もしっただけ美味いよ
かぶと虫は夜の電柱さいぐたがってるよ
蛸が舞い びっきが唄う僕のふるさと (以下略) ♪

そしてこの「なぐ子はいねが！(実際には「な～ぐ～ご～は～いねが！)となります。文字だけではなかなか伝わりにくいと思いますが…)を何度も何度も繰り返して歌います。すると会場も一緒になって歌い、さらに盛り上がっていきます。優さんは、ステージから叫びます。「秋田弁分かんなくてもいいから、一緒に歌おう！」すると、おそらく秋田弁はほとんど理解されていないにも関わらず、何千人ものお客さんが一緒になって「な～ぐ～ご～は～いねが！」の大合唱になっていくのです。

私は高橋優さんのコンサートに行ったことはないのですが、DVDは見ました。その様子から見ても、コンサートの熱狂ぶりは十分に伝わってきました。それにしても、秋田弁をここまで堂々と使っている人はどこにいらっしゃるのでしょうか。また、秋田弁だけでなく秋田の魅力をこれほどストレートに主張している人は、他にいないと思います。

以前にも書きましたが、秋田県出身の歌手だから応援するだけではありません。「秋田」そのものを熱く語り、その良さを日本中で伝えてくれているところに、感動があるのです。今年の仙北市での「野外フェス」も大成功に終わってほしいと思っています。そしてそこで歌われる「な～ぐ～ご～は～いねが！」は、他のどの場所で歌われるよりも、力強い歌声になることを、私は確信しています。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その6

山王中生も頑張っていますが、山王中卒業生も頑張っています。先月は県の高校総体、先週は東北高校総体が行われていました。その中で、時々山王中卒業生の名前を見かけて、嬉しくなっていました。秋田商業高校水泳部の赤間さん、秋田南高校剣道部の及川君など、それぞれ活躍していました。他にも頑張っていると思いますし、これからの活躍も楽しみです。

急に暑くなりました。

一昨日から急激に気温が上がりました。先週はずっと低い気温が続いていたので、あわててしまいました。水分補給、睡眠不足の解消、生活の正しいペースづくりなどで、熱中症の予防に取り組みましょう。暑い日は半袖ポロシャツの着用をお願いします。